

環境調査結果のお知らせ

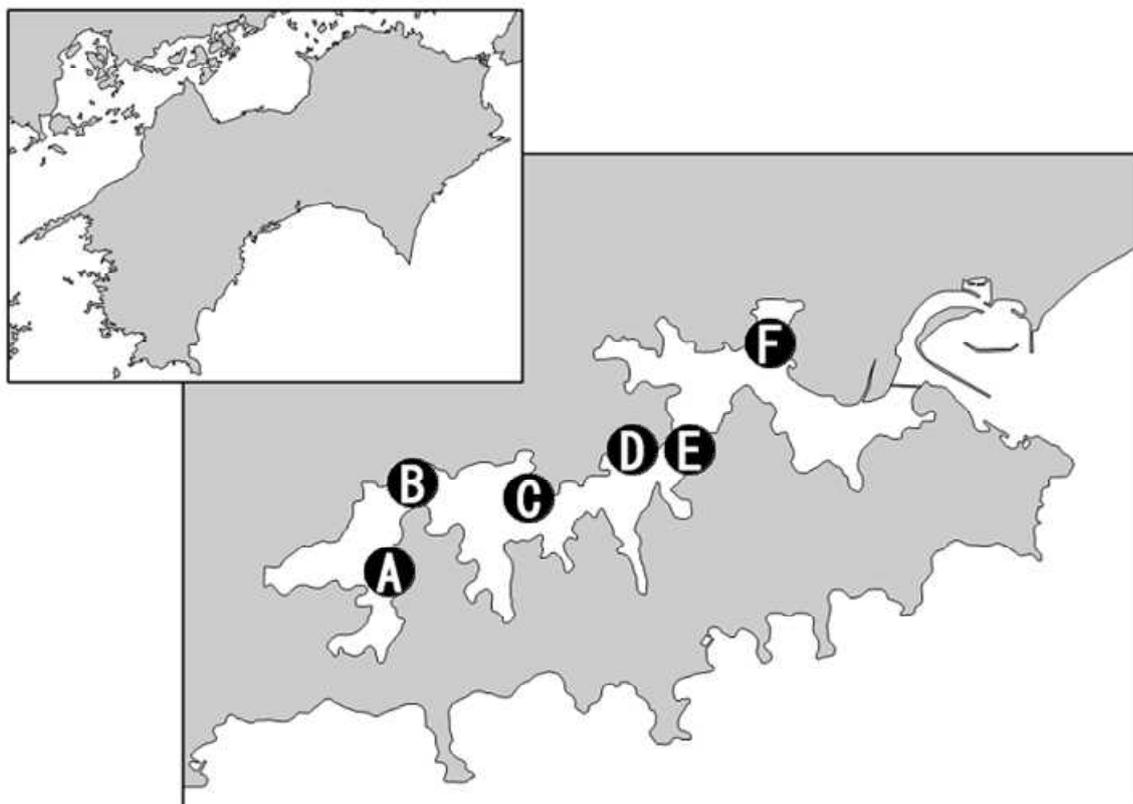
令和7年4月2日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なプランクトンは確認されませんでした。麻痺性貝毒原因種であるアレキサンドリウム属が最高で5 cells/mL確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	珪藻	アレキサンドリウム 属
	(m)	(°C)		(mg/L)		
A 鳴無 (3.2m) 【09:42】	0	14.9	32.0	10.9	1,120	1
	2	15.0	32.2	10.9	1,180	2
	5	16.4	33.4	11.3	800	3
	底層 9	15.7	33.6	10.7	1,700	2
B 中学校前 (3.8m) 【09:48】	0	15.5	32.7	10.6	800	4
	2	15.8	33.0	10.7	1,400	4
	5	15.9	33.3	10.4	780	0
	10	15.8	33.6	9.9	1,080	1
底層 12	15.4	33.6	10.3	1,580	0	
C 目ノクツ (3.6m) 【09:56】	0	15.0	32.2	10.5	1,020	5
	2	15.1	32.5	10.6	1,660	1
	5	15.9	33.0	10.3	1,440	0
	10	15.5	33.5	9.6	1,080	0
底層 15	15.2	33.6	9.5	1,020	0	
D 光松 (3.6m) 【10:03】	0	15.1	32.4	10.2	1,160	1
	2	15.2	32.6	10.2	1,100	0
	5	15.7	33.2	9.6	1,040	0
	10	15.6	33.4	9.2	960	1
底層 16.5	15.0	33.7	8.9	1,820	0	
E 大鹿 (3.4m) 【10:12】	0	14.8	32.3	10.1	980	0
	2	15.6	32.9	10.1	1,480	1
	5	15.5	33.2	9.5	940	0
	10	15.6	33.4	9.0	1,540	0
底層 16.5	14.9	33.7	8.8	1,860	0	
F 水試小割前 (4.4m) 【10:21】	0	15.1	32.7	9.0	480	0
	2	15.5	33.2	9.0	600	0
	5	15.5	33.3	9.0	720	0
	底層 9	15.7	33.4	8.9	1,260	0



- A: 鳴無 D: 光松
B: 中学校前 E: 大鹿
C: 目ノクソ F: 水試小割前

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクテオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6~7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8~9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8~11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。